

人権啓発に関するアンケート調査結果

人権施策推進課

1 調査目的

県では、県民の皆さんに、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題などさまざまな人権問題に関する正しい理解を深めていただき、「一人ひとりの人権が尊重される社会」を実現するため、人権教育・啓発を推進しています。

そこで、人権問題に対する県民の皆さんの意識や生活の現状を把握し、今後の人権施策の基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター485人(うちインターネットモニター278人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和元年12月25日～令和2年1月17日

回収結果: 346人(回収率71.3%)

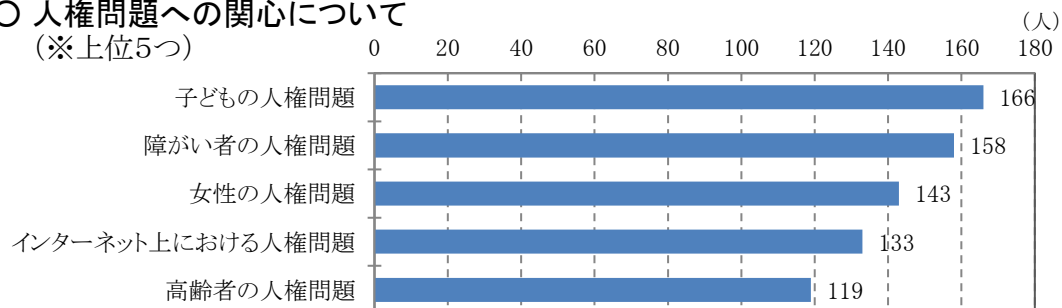
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

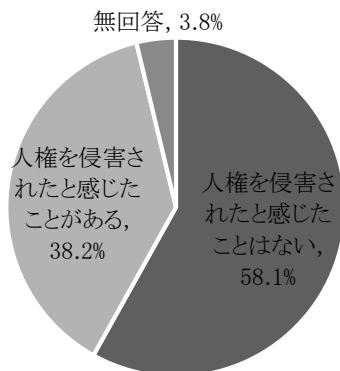
3 結果概要

○ 人権問題への関心について

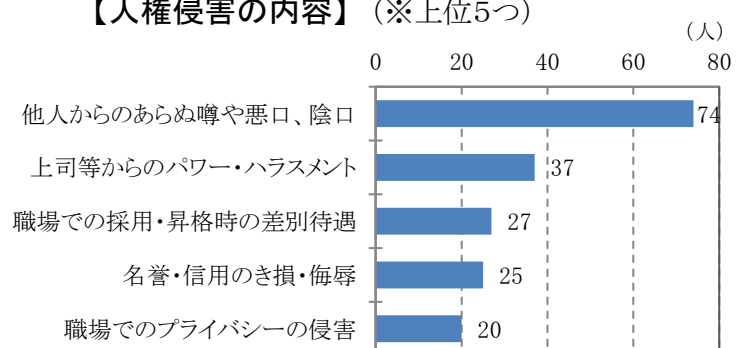
(※上位5つ)



○ 人権侵害について

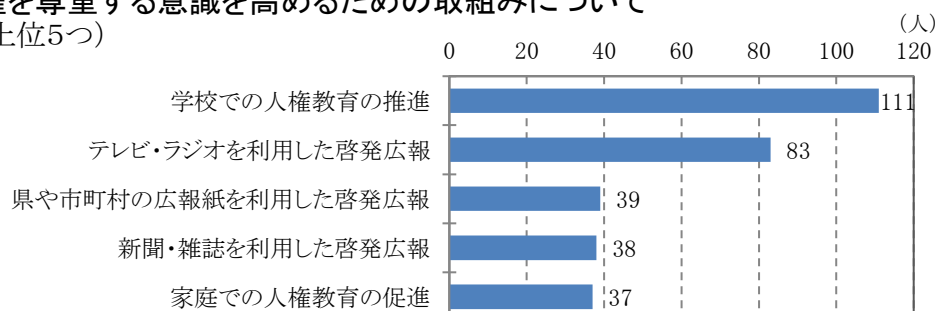


【人権侵害の内容】(※上位5つ)



○ 人権を尊重する意識を高めるための取組みについて

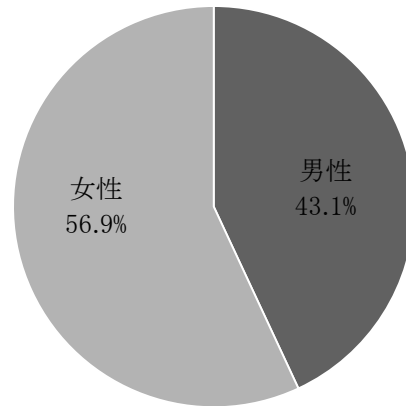
(※上位5つ)



4 回答者属性

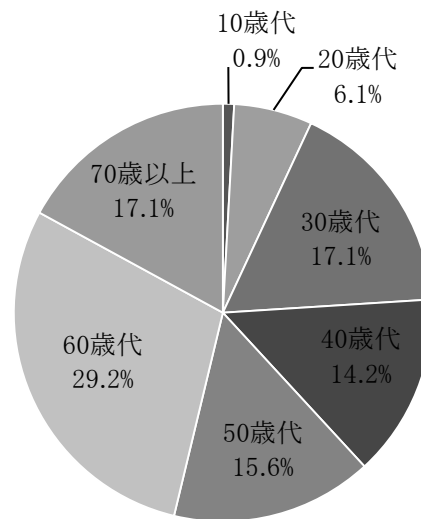
(1) 性別

	人数	割合
男性	149	43.1%
女性	197	56.9%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%



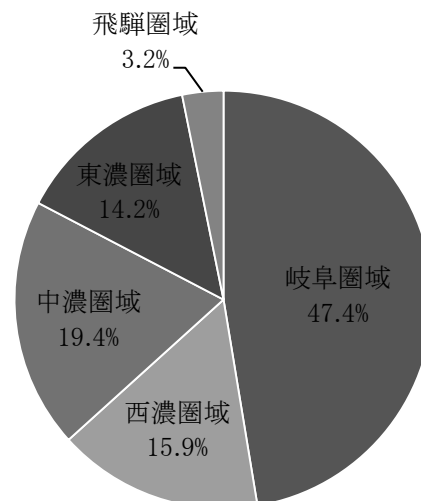
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.9%
20歳代	21	6.1%
30歳代	59	17.1%
40歳代	49	14.2%
50歳代	54	15.6%
60歳代	101	29.2%
70歳以上	59	17.1%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%



(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	164	47.4%
西濃圏域	55	15.9%
中濃圏域	67	19.4%
東濃圏域	49	14.2%
飛騨圏域	11	3.2%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%

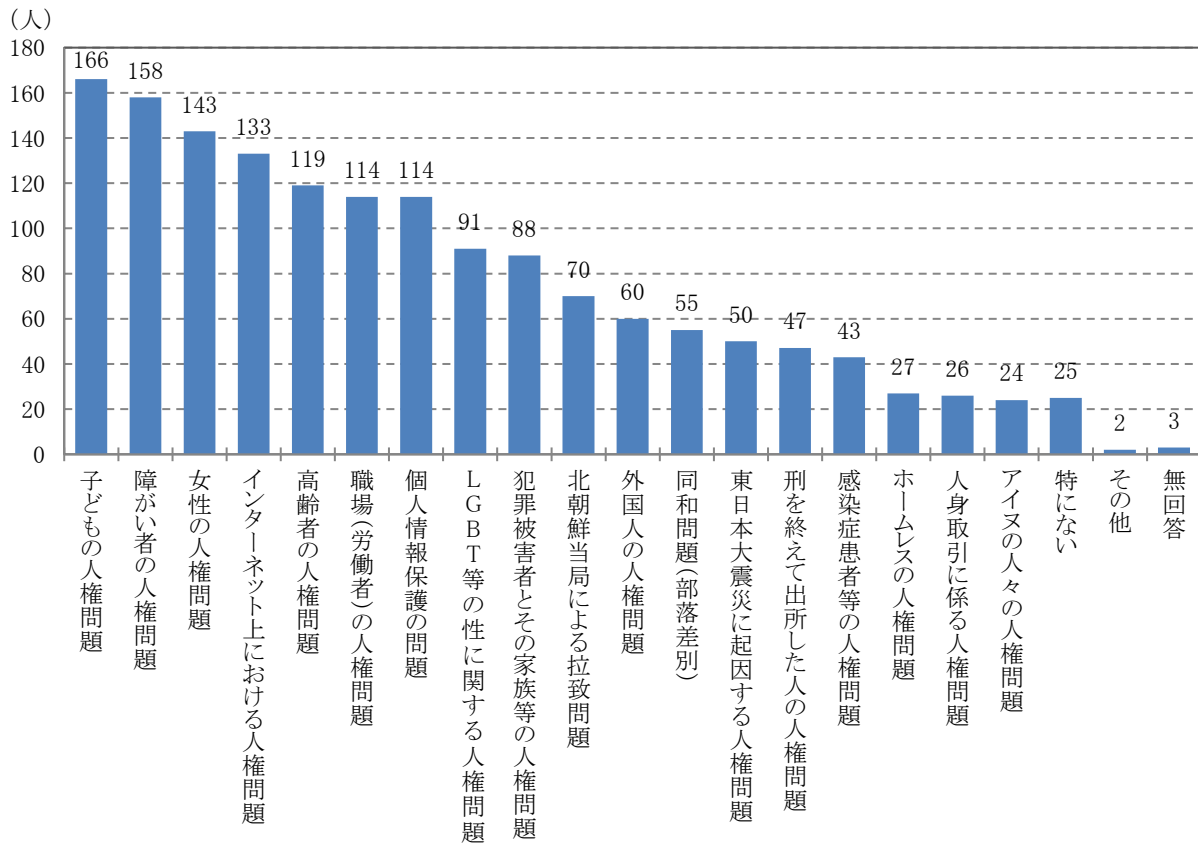


5 調査結果

問1 あなたは、どのような人権問題に関心がありますか。
(複数回答)

回答者数 346 人

	回答数	割合
子どもの人権問題	166	48.0%
障がい者の人権問題	158	45.7%
女性の人権問題	143	41.3%
インターネット上における人権問題	133	38.4%
高齢者の人権問題	119	34.4%
職場(労働者)の人権問題	114	32.9%
個人情報保護の問題	114	32.9%
LGBT等の性に関する人権問題	91	26.3%
犯罪被害者とその家族等の人権問題	88	25.4%
北朝鮮当局による拉致問題	70	20.2%
外国人の人権問題(ヘイトスピーチを含む)	60	17.3%
同和問題(部落差別)	55	15.9%
東日本大震災に起因する人権問題	50	14.5%
刑を終えて出所した人の人権問題	47	13.6%
感染症患者等の人権問題	43	12.4%
ホームレスの人権問題	27	7.8%
人身取引に係る人権問題	26	7.5%
アイヌの人々の人権問題	24	6.9%
特にない	25	7.2%
その他	2	0.6%
無回答	3	0.9%
計	1558	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 不登校児や保護者の人権問題
- ・ 車上生活者の人権問題

問2 あなたは、これまでに自分や自分の家族の人権を侵害された(暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇等)と感じたことがありますか。

回答者数 346 人

	人数	割合
人権を侵害されたと感じたことはない	201	58.1%
人権を侵害されたと感じたことがある	132	38.2%
無回答	13	3.8%
計	346	100.0%

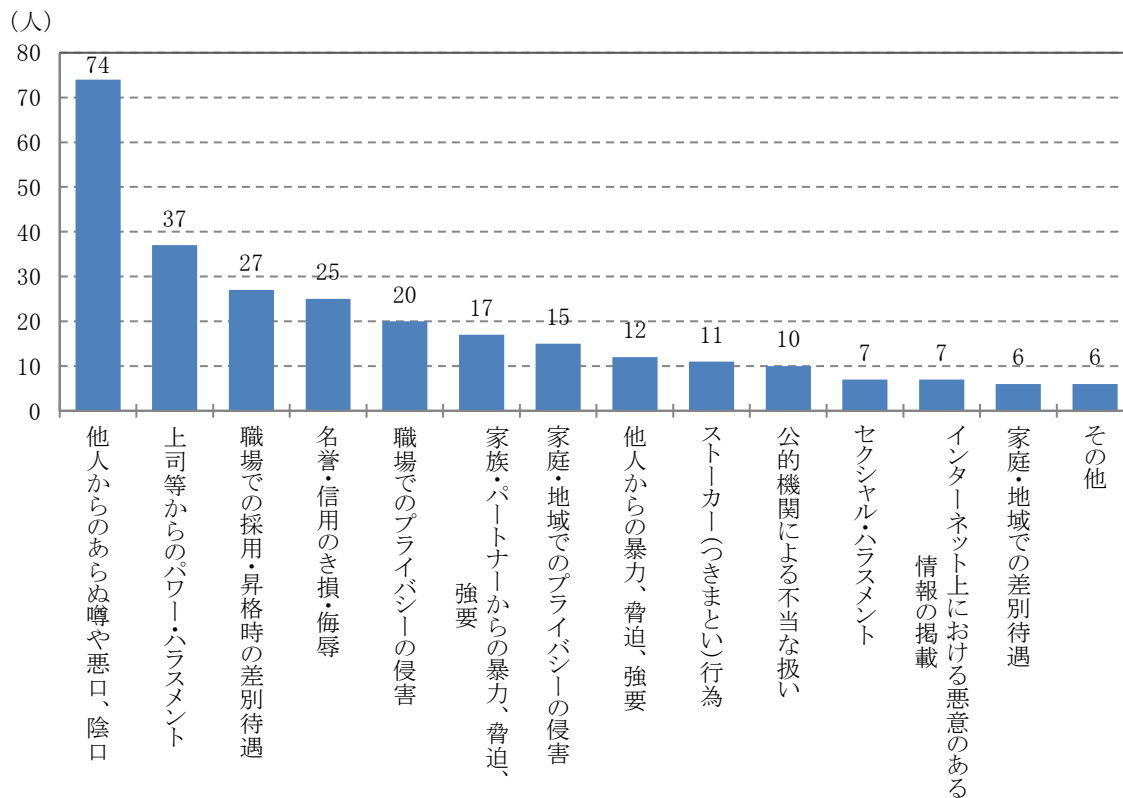
(「人権を侵害されたと感じたことがある」と答えた方)

以下のいずれの人権侵害をされたと感じたことがありますか。

(複数回答)

回答者数 132 人

	回答数	割合
他人からのあらぬ噂や悪口、陰口	74	56.1%
上司等からのパワー・ハラスメント	37	28.0%
職場での採用・昇格時の差別待遇	27	20.5%
名誉・信用のき損・侮辱	25	18.9%
職場でのプライバシーの侵害	20	15.2%
家族・パートナーからの暴力、脅迫、強要	17	12.9%
家庭・地域でのプライバシーの侵害	15	11.4%
他人からの暴力、脅迫、強要	12	9.1%
ストーカー(つきまとい)行為	11	8.3%
公的機関による不当な扱い	10	7.6%
セクシャル・ハラスメント	7	5.3%
インターネット上における悪意のある情報の掲載	7	5.3%
家庭・地域での差別待遇	6	4.5%
その他	6	4.5%
計	274	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 近隣住民からの嫌がらせ
- ・ マンションの騒音被害
- ・ 家族からのモラハラ
- ・ 電話帳を利用した勧誘電話
- ・ ネット上での家屋の閲覧

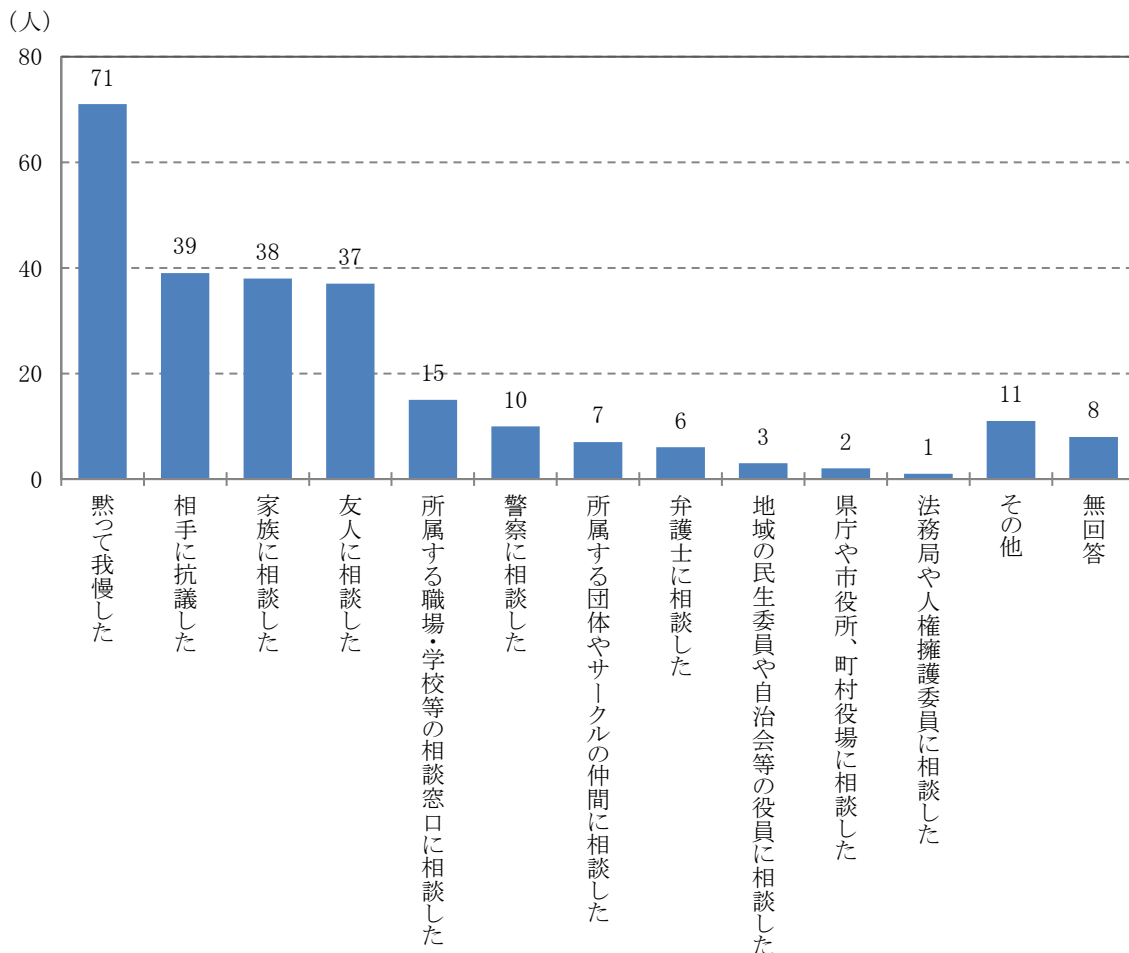
等

問3 (問2で「人権を侵害されたと感じたことがある」と答えた方)

あなたは、自分や自分の家族の人権を侵害されたことについて、どのように対応しましたか。

(複数回答) 回答者数 132 人

	回答数	割合
黙って我慢した	71	53.8%
相手に抗議した	39	29.5%
家族に相談した	38	28.8%
友人に相談した	37	28.0%
所属する職場・学校等の相談窓口相談した	15	11.4%
警察に相談した	10	7.6%
所属する団体やサークルの仲間に相談した	7	5.3%
弁護士に相談した	6	4.5%
地域の民生委員や自治会等の役員に相談した	3	2.3%
県庁や市役所、町村役場に相談した	2	1.5%
法務局や人権擁護委員に相談した	1	0.8%
その他	11	8.3%
無回答	8	6.1%
計	248	-



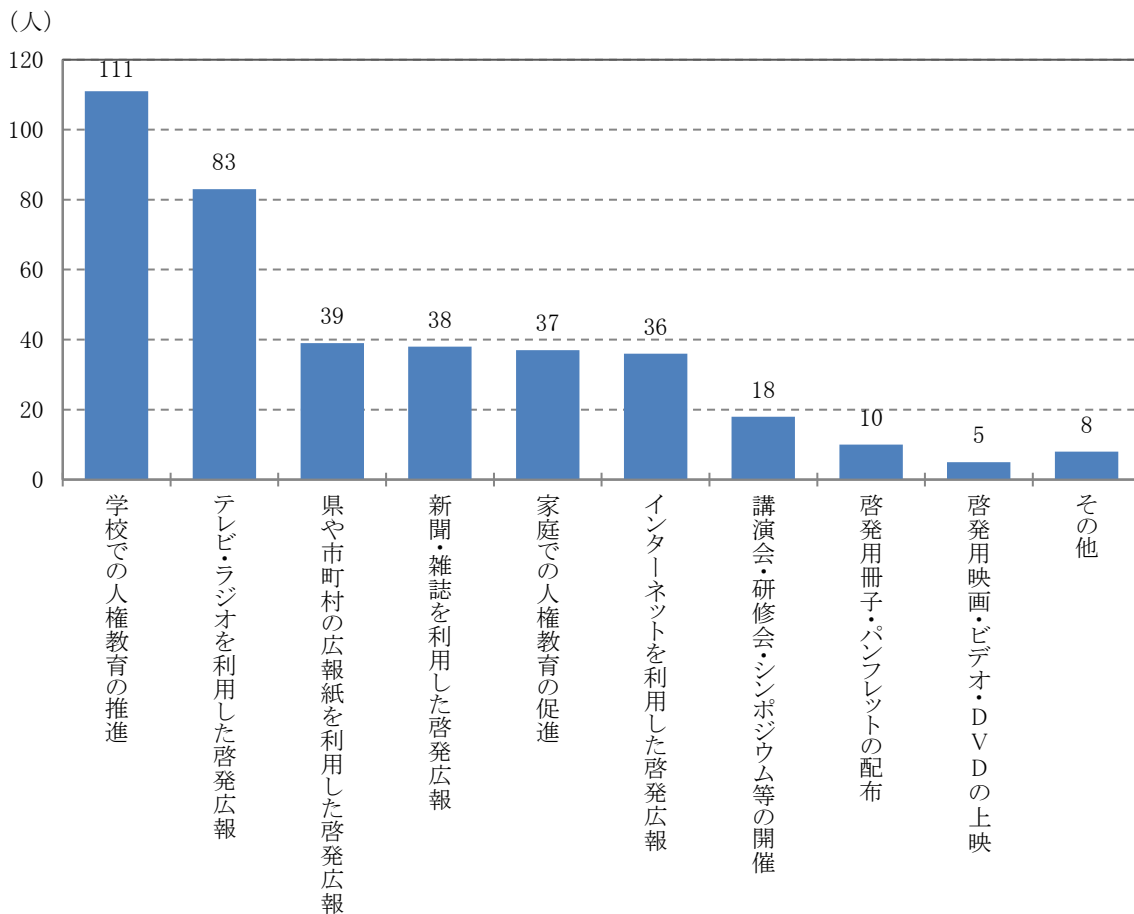
「その他」のうち主なもの

- ・仕事を辞めた。
- ・相手を見捨てた。
- ・あらぬ噂や悪口、陰口を言う人たちを敬遠した。
- ・気付いた周囲の人が相談に乗ってくれた。
- ・どこに相談したらいいのか分からない。
- ・対処法をネットで検索したり、専門サイトに相談したりした。 等

問4 さまざまな人権問題を解決するためには、私たち一人ひとりが人権問題を正しく理解し、互いの人権を尊重する意識を高める必要があります。
 そのためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。

(複数回答) 回答者数 195 人

	回答数	割合
学校での人権教育の推進	111	56.9%
テレビ・ラジオを利用した啓発広報	83	42.6%
県や市町村の広報紙を利用した啓発広報	39	20.0%
新聞・雑誌を利用した啓発広報	38	19.5%
家庭での人権教育の促進	37	19.0%
インターネットを利用した啓発広報	36	18.5%
講演会・研修会・シンポジウム等の開催	18	9.2%
啓発用冊子・パンフレットの配布	10	5.1%
啓発用映画・ビデオ・DVDの上映	5	2.6%
その他	8	4.1%
計	385	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 家族の話し合いは必要
- ・ 取り締まりの強化、厳罰化
- ・ 企業管理職への国家試験の義務化、講習の必須化
- ・ 地域の様々な活動の中に講演会や啓発活動を取り入れる。 等

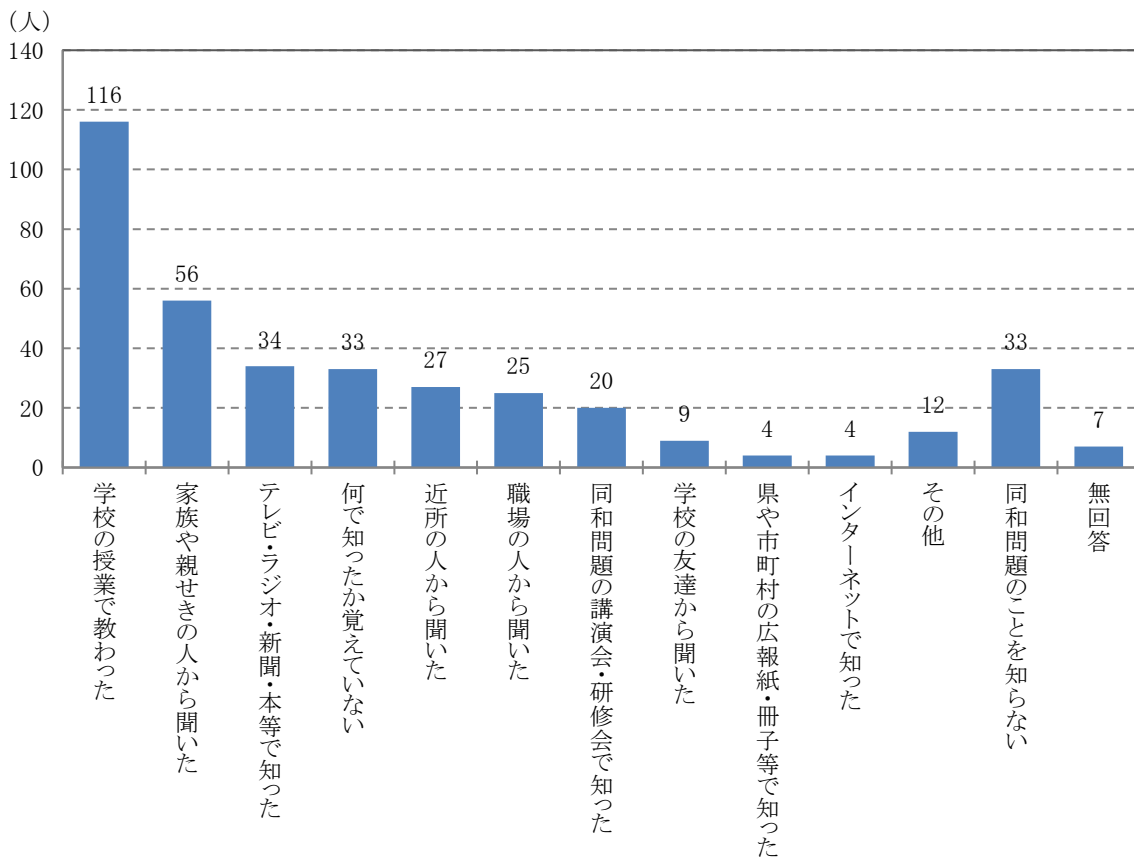
同和問題(部落差別)についてお聞きします。

問5 あなたが、この問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

回答者数 346 人

	回答数	割合
学校の授業で教わった	116	33.5%
家族や親せきの人から聞いた	56	16.2%
テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	34	9.8%
何で知ったか覚えていない	33	9.5%
近所の人から聞いた	27	7.8%
職場の人から聞いた	25	7.2%
同和問題の講演会・研修会で知った	20	5.8%
学校の友達から聞いた	9	2.6%
県や市町村の広報紙・冊子等で知った	4	1.2%
インターネットで知った	4	1.2%
その他	12	3.5%
同和問題のことを知らない	33	9.5%
無回答	7	2.0%
計	380	-

※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



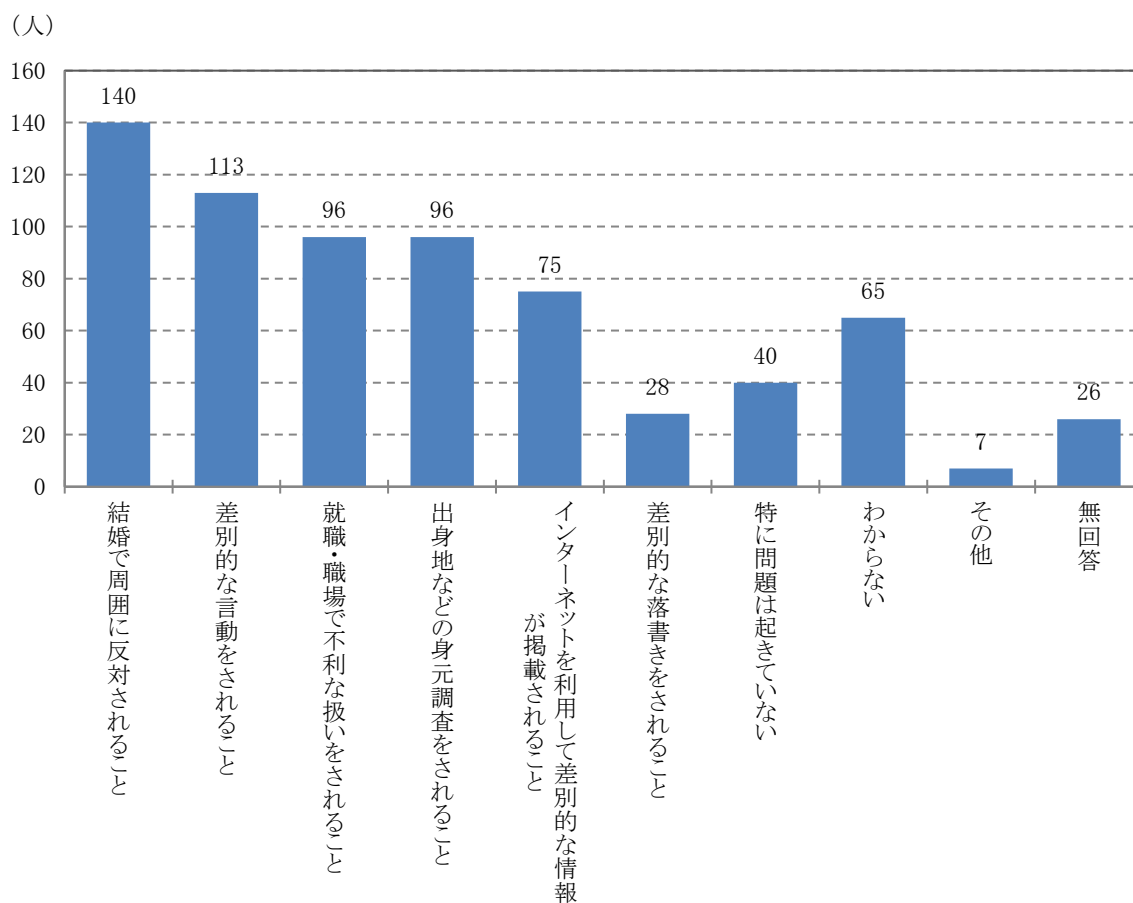
「その他」のうち主なもの

- ・ 子どもの頃から、世間の自然の流れの中で知った。
- ・ 授業をきっかけに、本を読んだ。
- ・ 職場の同和研修で勉強した。

等

問6 (問5で「同和問題のことを知らない」と答えた方以外の方)
 あなたは、この問題について、現在どのような問題が起きていると思いますか。
 (複数回答) 回答者数 313 人

	回答数	割合
結婚で周囲に反対されること	140	44.7%
差別的な言動をされること	113	36.1%
就職・職場で不利な扱いをされること	96	30.7%
出身地などの身元調査をされること	96	30.7%
インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	75	24.0%
差別的な落書きをされること	28	8.9%
特に問題は起きていない	40	12.8%
わからない	65	20.8%
その他	7	2.2%
無回答	26	8.3%
計	686	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 文献の販売
- ・ 逆差別としての優遇
- ・ 利権問題
- ・ 身近に感じたことがないので、どのような問題が起きているか分からない。
- ・ 以前は感じたが、現在は問題が発生しているとは、身近で感じない。

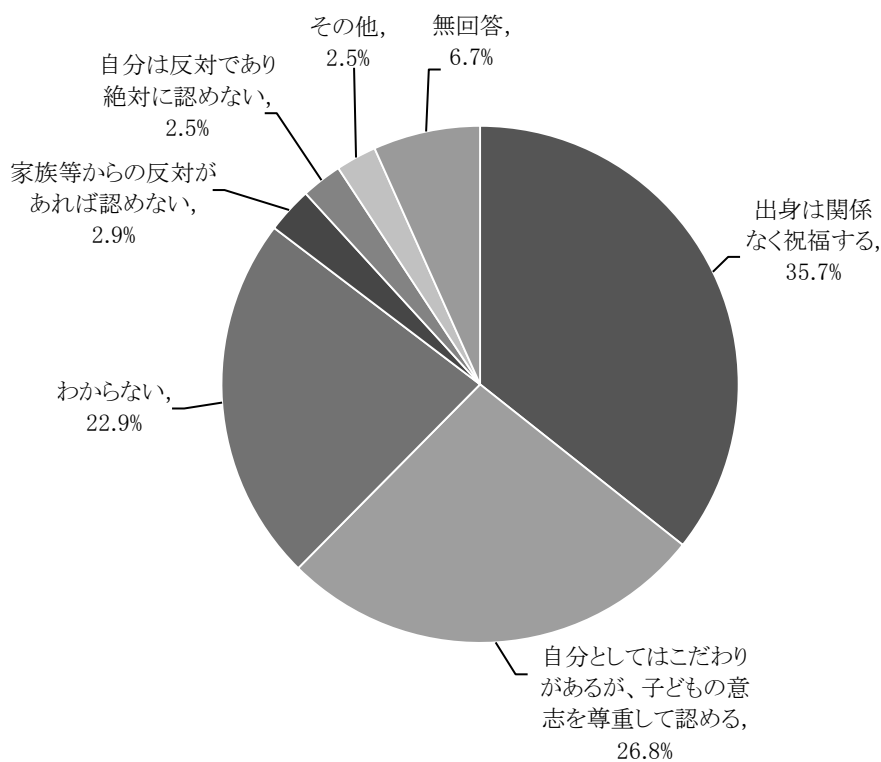
等

問7 (問5で「同和問題のことを知らない」と答えた方以外の方)
 仮にあなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区出身者であることが
 わかった場合、あなたはどうしますか。
 (お子さんがいない方は、お子さんがいると仮定して回答してください。)

回答者数 313 人

	回答数	割合
出身は関係なく祝福する	112	35.7%
自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める	84	26.8%
わからない	72	22.9%
家族等からの反対があれば認めない	9	2.9%
自分は反対であり絶対に認めない	8	2.5%
その他	8	2.5%
無回答	21	6.7%
計	314	100.0%

※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



「その他」のうち主なもの

- ・ 人間を見て判断する。
- ・ 自分というより、周りからの偏見や反対に対して、子どもが将来的に耐え得るかが心配。
- ・ 結婚し幸福に生活されている知人がおり、祝福すべきだと思うが、よく分からなく悩む。
- ・ その時点になってみないと、どのような行動をするか分からない。

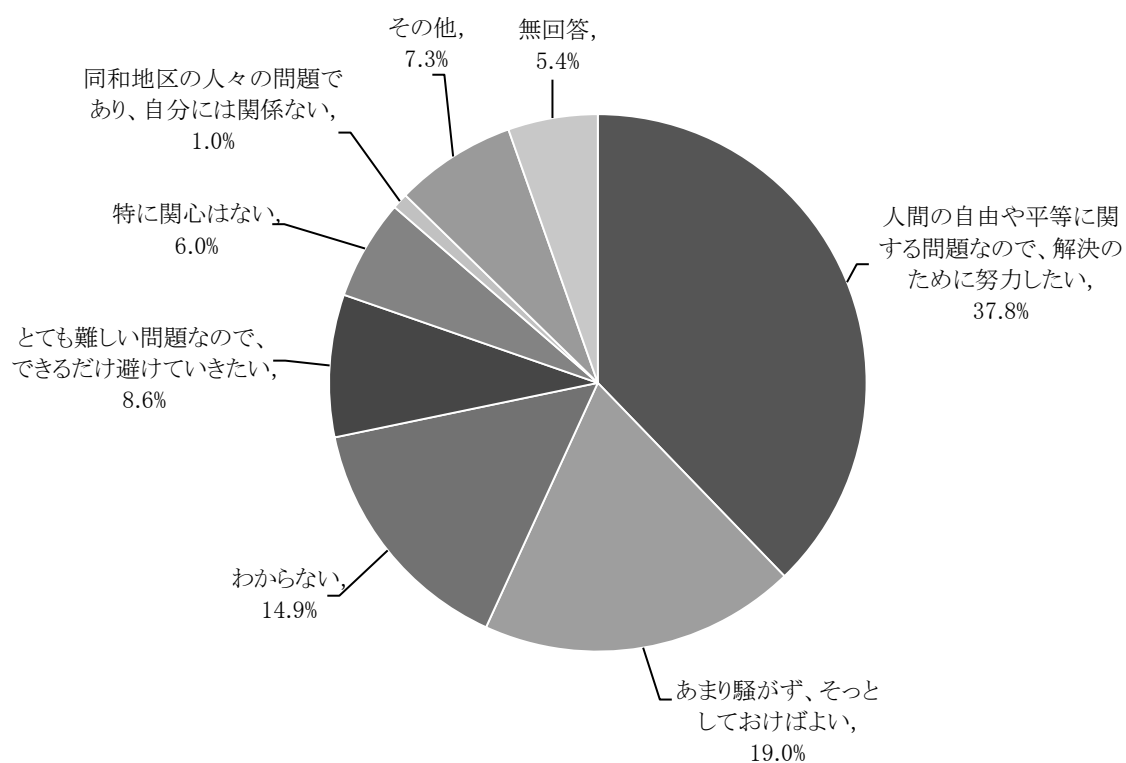
等

問8 (問5で「同和問題のことを知らない」と答えた方以外の方)
あなたは、この問題について、どのように考えていますか。

回答者数 313 人

	回答数	割合
人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい	119	37.8%
あまり騒がず、そっとしておけばよい	60	19.0%
わからない	47	14.9%
とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい	27	8.6%
特に興味はない	19	6.0%
同和地区の人々の問題であり、自分には関係ない	3	1.0%
その他	23	7.3%
無回答	17	5.4%
計	315	100.0%

※複数回答された方がみえるため、回答者数より回答数が多くなっています。



「その他」のうち主なもの

- ・ 無知による思い込み、勘違いによる差別。無くせるはず。
- ・ 現状を知りたい。
- ・ 元々の問題と、現在の問題を冷静に判断し、適切に対応する。
- ・ 時間をかけて、気にしなくなる世代が増えるのを待つしかない。

等